

# くろつち便り

今月の内容

おプレは出てけ〜！(日米仏共同訓練反対)  
／共助会行事／野草折々-43-／ごてれつ／  
九条の会からのお願い／(闘病記3)イヌ友／

【次回の金曜集会は9/3日、17:00〜】



↑会報QRコード

## 九条の会より

小学館「平和の俳句」より  
あたたかき

孫の手九条あればこそ

浅井安津子(愛知県)

この句の選者は、いとうせいこうさんと、数年前に亡くなられた金子兜太さんです。

意見広告へのご協力を

陸上自衛隊と米陸軍の戦争ごっこ。1日、奄美市の奄美駐屯地で対空戦闘を想定した日米共同訓練。これには、日米の計約70人、陸自中部方面隊の中距離地对空誘導ミサイル部隊と、沖縄県の嘉手納基地を拠点とする米パトリオット部隊が参加したという。シミュレーターでの訓練とはいえ、県民の危機意識を煽る役目を十分に果たして「戦争のできる国」に向けて突き進んでいる。だが冒頭の句の孫のような、か弱き者は銃器では守れ

ない。「九条」でしか守れない。「9条の会おおすみ」では今年も、8月15日前後に「南九州新聞」に「憲法9条を守り、活かす」ための意見広告を掲載します。この運動が続けられるためには、とりわけ「くろつち会」の各会員の協力が必要です。

募金額 1口500円  
(団体1,000円)

締め切り日 7月20日

連絡先 松下徳二(44-9687)／  
竹下幸男(40-2601)／米良晶子(41-4501)／鶴園幸一(43-4730)／福崎峰子(42-5538)  
(以上くろつち会関係役員)

## 8.9 原爆祈念集会

1991年から続いてきたという8・9原爆祈念集会、昨年はコロナ禍のために中止になった。今年には十分注意すれば、実施可能なはず。運動を継続するために、多くの参加者を得て実施できたらと願う。(文責 榎園)

## 教育講演会

共助会主催の行事です。

○教育講演会8月16日(水)

リナシティーホール  
受付 13時30分～14時  
講演会 14時～16時30分  
講師 戸高成人さん

(NPO法人ネットポリス)

内容：ネットいじめやゲーム依存症の児童・生徒への対処・指導について

○ボーリング大会 10月25日

○郷土料理教室 12月12日

○GG大会 2月13日



2019.8月9日11時2分、黙祷する参加者

## 闘病記3 イヌ友

(闘病記2「組上の魚」の続き)

3月。術後、点滴を受けながら、担当の看護師から説明を受けていると、若いピチピチの看護師が訪ねてきて「覚えてますか？」と言う。どこかで見たような・・・？あっ、そうだ！話をしているうちに思い出した。イヌ友だった。

そうか、看護師だったのか。明日から2日間の休みだそう。挨拶に見えたのだった。

看護師歴4年というから非常に若い。こういう明るい子だと、つい顔が緩んでしまっただけで、術後点滴中だということもすっかり忘れてしまい、マスクの中ではきっと鼻の下を伸ばしていたに相違ない。

入院は前日で、すぐに部屋に案内された。そこで担当の

看護師が左右の手首に×印をつけて「明日は、ここから管を挿入します」と言う。

入院前の説明では、<sup>カテーテル</sup>管を血管に挿入し、狭くなった箇所を広げてステントを挿入するという処置で、通常15～20分、治療を伴う場合だと40分ぐらいかかり、入院も1日長くなるという話だった。

×印が手首だったことで、内心「管の挿入は、足のつけ根からじゃなくてよかった」と思っていたのに、

「念のため、足のつけ根にも印をつけます。そのためその毛を剃らせて下さい」と言う。(きた！恥ずかしい！)と思ったけど、仕方ない、パンツをつけ根辺り、危険区域ぎりぎりまでずらして・・・ああ、今思い出すだけでも恥ずかしい。ここからの挿入

じゃないことを祈るだけだ。

翌日、管の挿入は手首からだったのでほっとしたが、手術が難航し、血管の中の石灰化した箇所をドリル(ロータブレータ)で削る必要が生じたという。途中で耳元で「挿入口を変えるかもしれません」と告げられた。遂につけ根にも麻酔をすることになったが、恥ずかしいなんて言っておれない。えーい！この身は、組上の魚だ。どうにでもなれ。

時間は通常20分のところ、その5倍かかったが、結局、つけ根は麻酔だけで済んでほっとした。

ただ、明朝まで点滴を外せないという。何かと不便だったが、退院後の犬の散歩で、あのイヌ友に会おうのを楽しみにしながらその日を終えた。恐らく鼻の下を長くして・・・。

(闘病記・完/文 榎園哲思)



# オスプレイは出てけ〜!



雨の中、反対集会

今日は午後は馬毛島で飛行訓練があるようです。こういう抗議行動を含めた中で、平和運動に尽力していきましょう。



真島社民党代表

5月15日、降りしきる雨の中、野里で反オスプレイ集会。



道下勝さん

前日にオスプレイ4機が鹿屋基地に飛来、日米仏共同訓練に兵員輸送として参加するという。また訓練は定例化するらしい。結局、天候が悪く、午前中はオスプレイは離陸できなかった。

バスを借り切って霧島演習場に抗議に行く準備を進めていましたが、コロナの影響でキャンセルしました。急遽、ここで反対集会を実施することにしました。



松下徳二代表

今回の問題は、辺野古の問題、馬毛島の問題などつながっています。戦争の準備をどんどん進めているのではないかと。

みんなでシュプレヒコールです。「日米仏共同軍事訓練、はんた〜い!」「オスプレイは来るな〜! オスプレイは出て行け〜!」「馬毛島を軍事訓練の場所にするな〜!」

敵は巨大だが、最後まで声は上げ続けたい。



報道機関が注目の中、シュプレヒコール

## ごてれつの独り言

(ごてれつーぶつくさ言う人)

◇WHOが「2年目の死者は、遥かに多くなる」と警鐘を鳴らした。(Microsoft News) コロナ禍が始まって死者が400万人に迫ろうとしているが、更にこれ以上の人々が亡くなるということだ。また富裕国に対しては、貧困国にワクチンを寄付するよう呼び掛けている。

それなのに、オリンピック

選手に対して優先的に接種というのは考えられない。

◇菅は口では「国民の安全・安心」と言っているが、国民の命を危険にさらしてでも、経済や五輪の開催を大事にしているというのは、誰の目にも明らかだ。

◇6月23日、40年超の関電美浜老朽原発3号機が再稼働した。運転は原則40年で、延長は例外的な場合のみ、とされている。しかし、原子力規制委員会は極めて不十分な審査で運転延長を認可したと

いう。ルール違反も甚だしい。◇池田清彦「どうせ死ぬから言わせてもらおう」(角川新書)(組織に忠誠を誓うのはなぜか、より抜粋)「このままでは将来の生活は今よりも悪くなることはあっても良くなることはないというくらいは、どんな馬鹿な国民でも何となくわかるだろうが、恐ろしくて未来のことは考えたくない。政権とマスコミが吹聴する『日本すごい』の合唱を信じて、将来の不安を封印しているに違いない。」



## 野草折々-43-

飯山春男さん紹介の身近な植物シリーズ。今回は、

### オオバコ (オオバコ科)

葉は全て根生。春と秋、茎の先に白い小さな花を穂状につけ、下から順に咲きあがる。雌しべが熟した後、雄しべがでる。

花期に全草を採取し、乾燥させたものを車前草と呼び、漢方で用いる。便秘、鎮咳、去痰に用いる。(写真は2018年8月 場所不明)